

SATREPS 行動記 (その 1)

平成 26 年に国際資源学部の石山大三教授をリーダーとする SATREPS (地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム : http://www.jst.go.jp/global/kadai/h2603_serbia.html) が採択され、今年からセルビア共和国に派遣されることになりました。今年 8 月 2 日から 26 日までボール市を中心に現地調査とラボ内の化学分析を共同で行う予定です。

さて、セルビアに来て半月が過ぎました。いろいろと問題が出てきてはいますが、全体的には順調に予定をこなしています。現地調査では、現地で温度・pH・ORP・DO・流量を測定するほか、後に化学分析を行うための堆積物試料と 5 種類の水試料を採取します。前回のセルビア訪問では共同で作業を行いました。今回のプロジェクトではカウンターパートが自立して今後の作業を行うことも目的の一つですので、指導した後はカウンターパートが行う作業を見守ります。連日 35 度を超える炎天下の中での作業は大変ですが、カウンターパートの方々は一生懸命頑張っています。この気持ちに応えるべく、今後も精力的に活動していきたいと思っています。

(写真) 石山教授が見守る中、カウンターパートと試料採取を行いました。この地点の河川水はとても汚れていて、すぐにフィルターが詰まり、20 ミリリットル毎にフィルターを交換しました。

